

「さくらんぼを核とする県産フルーツの情報発信実行計画」（案）への意見募集の結果

1 意見募集期間

令和5年3月7日（火）～令和5年3月23日（木）

2 意見の件数

2件（意見提出者1名）

3 提出された意見の概要及び意見に対する県の考え方

番号	意見の概要	県の考え方
1	<p>○ アンケート調査によると、山形県旅行における交通手段は半分以上が自家用車であり、JR（新幹線、在来線）利用に比べ7.1ポイント高い結果となっている。</p> <p>是非、ドライブ旅行者向けの対策を強力に展開するという視点を打ち出してもらいたい。</p>	<p>○ いただいた御意見を踏まえ、関係部局と連携しながら積極的に施策を展開して参ります。</p>
2	<p>○ 計画の推進組織として、「県と関係団体による『山形県さくらんぼ&フルーツPR協議会』を設立する。」とあるが、この協議会の優位性は何か。</p> <p>新しい組織が、既存の組織や事業者等の取組みと重複することなく、役割分担が図られ、県全体として相乗効果が発揮できるという枠組みを明示してもらいたい。</p>	<p>○ 令和5年「やまがた紅王」本格デビューや令和7年「さくらんぼ栽培150周年」は、「果樹王国やまがた」を発信する絶好の機会です。県としては、この期間にイベントやプロモーションを重点的に展開するとともに、実際に産地を訪れていただく「フルーツ・ツーリズム」を推進し、観光誘客や地域振興に寄与していきたいと考えております。</p> <p>「さくらんぼ&フルーツPR協議会」は、農業・観光・商工関係者が連携してこれらの取組みを効果的に展開するために、県と関係団体が共同で設立した公民連携のプロモーション推進組織です。</p> <p>県としては、関係団体が連携することで、様々な人、業種・業界の結び付きが促され、例えば県産フルーツを新しい視点から様々な産業と結び付ける取組みや、県産フルーツの新しい消費文化を生み出す取組みなどに繋げていくものと考えています。</p>